

## ビジョンの 基本的な考え方

- ① ビジョンは、国の教育振興基本計画や県の教育振興ビジョンを参考に、教育基本法第17条第2項にある地方公共団体における教育振興基本計画の位置付けとします。
- ② 大綱のキーワードである「つながり」「ひろがり」を教育の軸とし、その先にある「ひととまち」の未来を見据え、誰もが安心して学び、挑戦できる教育環境の実現を目指します。

## ビジョンの 見直し



- ① 見直しの経緯 平成26年2月に基本目標として掲げた「めざす子ども像」の実現に向け、6つの重点目標を柱とした「益田市教育ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定し、多くの教育施策を進めてきました。この6つの重点目標には学校教育を中心とした取組に重きを置いており、これからの時代においては、学校教育に加え、社会教育、文化芸術やスポーツ振興などを含めた広い視点で教育を捉え、地域全体で人を育てる取組が必要です。  
このような考えのもと、令和7年12月に本市の教育、学術及び文化の振興に関する方向性を定めた「益田市教育に関する大綱」（以下「大綱」という。）の全面的な見直しが行われました。そしてこの大綱の理念を具現化する指針としてこれまでのビジョンを見直し、本ビジョンを策定しました。
- ② 計画期間 大綱が5年を経過した時点で一部見直しを行うことに合わせ、2030年度（令和12年度）までの5年間とします。

## ビジョンの 進め方



- ① ビジョンの浸透 イベントなどでの積極的な周知、SNSなど多数の情報ツールの活用。
- ② ビジョンの評価 定性的評価と定量的評価の2つの評価を実施。
- ③ ビジョンの実施体制 学校教育、社会教育、地域づくりなどに関係する行政セクションが連携して実施。



益田市教育振興基本計画  
第2次 益田市教育ビジョン 概要版

令和8年2月発行  
編集・発行：益田市教育委員会  
〒698-0024 島根県益田市駅前町17番1号  
益田駅前ビルEAGA 1階

概要版

第2次

# 益田市教育ビジョン

「対話」が つなぎ 「対話」で ひろげる  
ひととまちの多様性と可能性

令和8年（2026年）2月

益田市教育委員会



# ビジョンの体系

大綱に掲げるテーマ（益田市の教育のあるべき姿）、コンセプト（教育を進める上での基本方針）を踏まえ、このテーマやコンセプトから導かれる3つのキーワードとそのキーワードで大切にしたいことを柱として、これまでのビジョンで取り組んできた施策の現状と課題を基に、「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」を掲げたものをビジョンの体系として進めていくこととします。

学校と地域が交流する様子



## つながり

ひととひとのつながりのなかで、  
どう生きるかを学ぶ

公民館活動におけるイベントの様子



## ひろがり

視野や可能性をひろげ、「なんでだろう」「やってみよう」の気持ちを育てる

萬福寺庭園を鑑賞しながらのサムライ御膳



## ひととまち

つながりとひろがり  
わたしたちのまち MASUDA の未来を拓く



- ① 学校、家庭、地域が連携し、ひととひとのつながりを育む学びの場をつくる
- ② 互いの個性や多様性を尊重し、違いを認め、協力し合える地域をつくる



- ① 主体的に考え、行動した結果を次の行動に活かせる力を育てる
- ② 好奇心や探求心を育み、創意工夫と挑戦を後押しする環境をつくる



- ① グローバル、ローカル両面の視野を育てる
- ② 持続可能なまちづくりの担い手を育てる



5つの実現したいことと、9の取り組んでいくこと

### つながり

の中で特に実現したいことや  
取り組んでいくこと



学校運営協議会の様子

コミュニティ・スクールの設置を推進することにより、地域と一体となって、特色のある学校づくりを進めます。  
また、「学校を核とした地域づくり」により、学校教育、地域づくり、ひとづくりを一体的に進め、地域の持続可能な発展を目指します。

9つの実現したいことと、20の取り組んでいくこと

### ひろがり

の中で特に実現したいことや  
取り組んでいくこと



算数・数学パワーアップ教室の様子

主体的に行動する力を育てるために、幼小接続と小中連携を深化させ、確かな学力の育成を目指した教育を推進します。  
また、子どもたちの卒業後の選択肢を充実させ、将来の可能性を広げるために益田市型中高一貫教育を推進します。

5つの実現したいことと、11の取り組んでいくこと

### ひととまち

の中で特に実現したいことや  
取り組んでいくこと



萩・石見空港マラソン全国大会の様子

「島根かみあり国スポ・全スポ」を契機に競技スポーツの推進とスポーツ環境の充実を図ります。  
また、芸術、文化の発信の中核施設であるグラントワのほか、雪舟の郷記念館や歴史文化交流館など施設間連携による周遊促進や日本遺産である益田氏関連遺跡の整備促進と積極的な活用を図ります。

